

居住地交流

合川小学校 三年

ぼくのクラスに特別支援学校から男の子がやって来ました。ぼくたちは、その子のために何日も前から準備をしました。安心して来てもらえるようにみんなで動画をとって送ったり、プレゼントするための絵をかいたりしました。

ぼくは、当日その子を校長室までむかえに行く係になりました。どうしてかというと、その子は大きい音や大ぜいの人が苦手だと聞いたので、ぼくと同じだと思ったからです。ぼくは、安心してもらえるように、やさしい声でその子の名前を呼んで、自己紹介をしました。その子は、とてもソワソワしていて、きんちょうしているのがわかりました。教室まで来てくれるか心配だったけど、何とか付いて来てくれました。

教室では、みんな輪になって待っていました。教室に入ると、少し時間はかかったけど、がんばって自己紹介をしてくれました。その後、ジェスチャーゲームや風船バレーをしているうちに少

しずつなれてきて、楽しく遊べたと思います。帰る時には、

「楽しかった。」

と言ってくれたので、ぼくは少し仲良くなれた気がしてうれしかったです。

たくさんの知らない人の中に入るのは、不安だったと思います。ぼくも一年生になる時、知っている子はいかな、友だちはできるかなと、とても不安でした。でも今では、仲良しの友だちもできて、学校生活が楽しくなりました。だから、その子も自分の学校で友だちをたくさん作って楽しくすごしてほしいです。

ぼくは、今でも大きい音や人ごみが苦手です。家族でお祭りや花火大会に行くと早く帰りたいなと思ってしまいます。でも妹が楽しそうにしているのを見て、少しがまんをすることもあります。これからも人の気持ちを考えて行動したり、困っている人がいたら、やさしく声をかけてあげたりすることのできるぼくでいたいと思います。